

MEDICAL EXAMINATION SUPPORT SYSTEM AND ITS METHOD

Patent Number: JP2002230156
Publication date: 2002-08-16
Inventor(s): KONDO SEIICHI; TAKIGUCHI SUSUMU
Applicant(s): MITSUBISHI ELECTRIC CORP;; TAKIGUCHI SUSUMU
Requested Patent: ☐ JP2002230156
Application Number: JP20010024556 20010131
Priority Number(s):
IPC Classification: G06F17/60
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve the problem that the medical history, medication history, etc., of a patient can be known only with the clue of generally ambiguous patient's memory except a special case and the efficiency of medical examination can not be enhanced.

SOLUTION: At the time of receiving insurance certificate information transmitted from a medical institution 2, an agent 3 specifies an insurer 4 to which a patient 1 belongs from the insurance certificate information and transmits the insurance certificate information to the insurer 4. At the time of receiving the insurance certificate information, the insurer 4 refers to the insurance certificate information, retrieves insured person information and transmits the insured person information to the medical institution 2 through the agent 3.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-230156
(P2002-230156A)

(43) 公開日 平成14年8月16日 (2002.8.16)

(51) Int.Cl.⁷
G 0 6 F 17/60

識別記号
1 2 6

F I
G 0 6 F 17/60

テーマコード (参考)
1 2 6 A

審査請求 有 請求項の数24 O L (全 22 頁)

(21) 出願番号 特願2001-24556(P2001-24556)

(22) 出願日 平成13年1月31日 (2001.1.31)

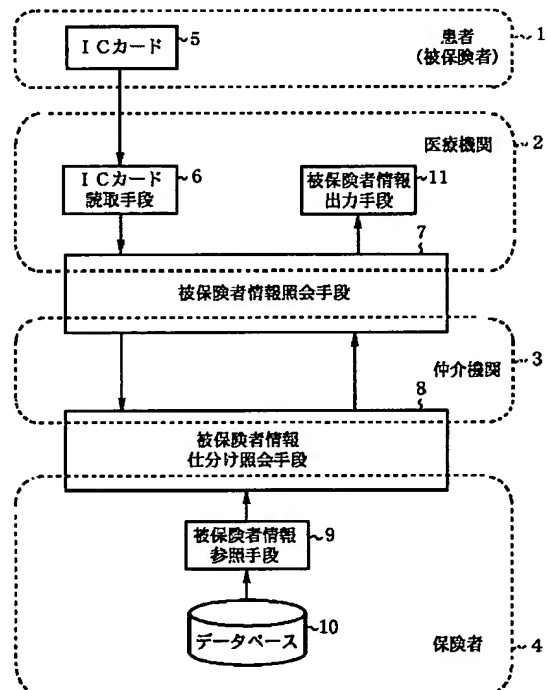
(71) 出願人 000006013
三菱電機株式会社
東京都千代田区丸の内二丁目2番3号
(71) 出願人 595094552
滝口 進
東京都中央区佃1-11-6-2810
(72) 発明者 近藤 誠一
東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三
菱電機株式会社内
(72) 発明者 滝口 進
東京都中央区佃1-11-6-2810
(74) 代理人 100066474
弁理士 田澤 博昭 (外1名)

(54) 【発明の名称】 診療支援システム及び診療支援方法

(57) 【要約】

【課題】 特別な場合を除き、一般的に曖昧である患者の記憶を手がかりにしなければ、患者の病歴や薬歴等を知ることができず、診療の効率化を図ることができない課題があった。

【解決手段】 医療機関2から送信された保険証情報を受信すると、仲介機関3が当該保険証情報から患者1が所属する保険者4を特定して、その保険証情報を当該保険者4に送信する一方、保険者4が当該保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索し、その被保険者情報を仲介機関3を介して医療機関2に送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ICカードに記録されている保険証情報を読み取るICカード読取手段と、上記ICカード読取手段により読み取られた保険証情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求する照会要求手段と、上記照会要求手段から送信された保険証情報を受信すると、その保険証情報から被保険者が所属する保険者を特定し、その保険証情報を当該保険者に送信する保険者特定手段と、上記保険者特定手段から送信された保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索する検索手段と、上記検索手段により検索された被保険者情報を提供する提供手段とを備えた診療支援システム。

【請求項2】 ICカードに記録されている個人識別情報を読み取るICカード読取手段と、上記ICカード読取手段により読み取られた個人識別情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求する照会要求手段と、上記照会要求手段から送信された個人識別情報を受信すると、その個人識別情報を参照して保険証情報を検索し、その保険証情報から被保険者が所属する保険者を特定し、その保険証情報を当該保険者に送信する保険者特定手段と、上記保険者特定手段から送信された保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索する検索手段と、上記検索手段により検索された被保険者情報を提供する提供手段とを備えた診療支援システム。

【請求項3】 ICカードに記録されている保険証情報を読み取るICカード読取手段と、上記ICカード読取手段により読み取られた保険証情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求する照会要求手段と、保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存する事前保存手段と、上記事前保存手段に保存されている被保険者情報の中から上記照会要求手段より送信された保険証情報に対応する被保険者情報を検索する検索手段と、上記検索手段により検索された被保険者情報を提供する提供手段とを備えた診療支援システム。

【請求項4】 ICカードに記録されている個人識別情報を読み取るICカード読取手段と、上記ICカード読取手段により読み取られた個人識別情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求する照会要求手段と、保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存する事前保存手段と、上記照会要求手段から送信された個人識別情報を受信すると、その個人識別情報を参照して保険証情報を検索し、上記事前保存手段に保存されている被保険者情報の中から当該保険証情報に対応する被保険者情報を検索する検索手段と、上記検索手段により検索された被保険者情報を提供する提供手段とを備えた診療支援システム。

【請求項5】 仲介機関が保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存し、上記仲介機関

に保存されている被保険者情報の中から照会要求手段より送信された保険証情報に対応する被保険者情報を検索し、その被保険者情報を照会するだけでは情報開示が不十分である場合に限り、その保険証情報を保険者に送信することを特徴とする請求項1または請求項2記載の診療支援システム。

【請求項6】 照会要求手段が保険証情報を仲介機関に送信する際、その保険証情報を親展にして送信する一方、検索手段が保険証情報を参照して被保険者情報を検索する際、その親展を開封することを特徴とする請求項1から請求項5のうちのいずれか1項記載の診療支援システム。

【請求項7】 検索手段が被保険者情報を親展にして送信する一方、提供手段が当該親展を開封して被保険者情報を提供することを特徴とする請求項1から請求項6のうちのいずれか1項記載の診療支援システム。

【請求項8】 認証機関が管理する認証情報に基づいてICカードの有効性を検証する有効性検証手段を設けたことを特徴とする請求項1から請求項7のうちのいずれか1項記載の診療支援システム。

【請求項9】 提供手段が被保険者情報を提供するに際して発行元医療機関又は主治医の承認が必要な場合、検索手段が発行元医療機関又は主治医に対して承認要求を送信し、承認が得られたとき被保険者情報を提供手段に送信することを特徴とする請求項1から請求項8のうちのいずれか1項記載の診療支援システム。

【請求項10】 ICカード読取手段により読み取られた情報を診療費計算用の計算機に入力することを特徴とする請求項1から請求項9のうちのいずれか1項記載の診療支援システム。

【請求項11】 ICカードにデビットカード情報が記録されている場合、そのデビットカード情報を参照して診療費の自己負担分を決済する決済手段を設けたことを特徴とする請求項1から請求項10のうちのいずれか1項記載の診療支援システム。

【請求項12】 ICカードに診察券情報が記録されている場合、その診察券情報を参照して診療の受け付け処理を実施する受付手段を設けたことを特徴とする請求項1から請求項11のうちのいずれか1項記載の診療支援システム。

【請求項13】 医療機関がICカードに記録されている保険証情報を読み取ると、その保険証情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求し、上記仲介機関が当該保険証情報を受信すると、その保険証情報から被保険者が所属する保険者を特定して、その保険証情報を当該保険者に送信し、上記保険者が当該保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索し、上記医療機関が当該被保険者情報を提供する診療支援方法。

【請求項14】 医療機関がICカードに記録されてい

る個人識別情報を読み取ると、その個人識別情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求し、上記仲介機関が当該個人識別情報を受信すると、その個人識別情報を参照して保険証情報を検索し、その保険証情報から被保険者が所属する保険者を特定して、その保険証情報を当該保険者に送信し、上記保険者が当該保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索し、上記医療機関が当該被保険者情報を提供する診療支援方法。

【請求項15】 仲介機関が保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存する一方、医療機関がICカードに記録されている保険証情報を読み取ると、その保険証情報を上記仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求し、上記仲介機関が保存している被保険者情報の中から当該保険証情報に対応する被保険者情報を検索し、上記医療機関が当該被保険者情報を提供する診療支援方法。

【請求項16】 仲介機関が保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存する一方、医療機関がICカードに記録されている個人識別情報を読み取ると、その個人識別情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求し、上記仲介機関が当該個人識別情報を受信すると、その個人識別情報を参照して保険証情報を検索し、保存している被保険者情報の中から当該保険証情報に対応する被保険者情報を検索し、上記医療機関が当該被保険者情報を提供する診療支援方法。

【請求項17】 仲介機関が保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存し、上記仲介機関が保存している被保険者情報の中から医療機関より送信された保険証情報に対応する被保険者情報を検索し、その被保険者情報を照会するだけでは情報開示が不十分である場合に限り、その保険証情報を保険者に送信することを特徴とする請求項13または請求項14記載の診療支援方法。

【請求項18】 医療機関が保険証情報を仲介機関に送信する際、その保険証情報を親展にして送信する一方、保険者又は仲介機関が保険証情報を参照して被保険者情報を検索する際、その親展を開封することを特徴とする請求項13から請求項17のうちのいずれか1項記載の診療支援方法。

【請求項19】 保険者又は仲介機関が被保険者情報を親展にして送信する一方、医療機関が当該親展を開封して被保険者情報を提供することを特徴とする請求項13から請求項18のうちのいずれか1項記載の診療支援方法。

【請求項20】 認証機関が管理する認証情報に基づいてICカードの有効性を検証することを特徴とする請求項13から請求項19のうちのいずれか1項記載の診療支援方法。

【請求項21】 医療機関が被保険者情報を提供するに

際して発行元医療機関又は主治医の承認が必要な場合、保険者が発行元医療機関又は主治医に対して承認要求を送信し、承認が得られたとき被保険者情報を医療機関に送信することを特徴とする請求項13から請求項20のうちのいずれか1項記載の診療支援方法。

【請求項22】 ICカードに記録されている情報を診療費計算用の計算機に入力することを特徴とする請求項13から請求項21のうちのいずれか1項記載の診療支援方法。

【請求項23】 ICカードにデビットカード情報が記録されている場合、そのデビットカード情報を参照して診療費の自己負担分を決済することを特徴とする請求項13から請求項22のうちのいずれか1項記載の診療支援方法。

【請求項24】 ICカードに診察券情報が記録されている場合、その診察券情報を参照して診療の受け付け処理を実施することを特徴とする請求項13から請求項23のうちのいずれか1項記載の診療支援方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、保険者に蓄積されている被保険者情報を提供する診療支援システム及び診療支援方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】患者が病院、診療所をはじめとする医療機関で受診する場合、病歴や薬歴は主に本人が記憶し、本人が問診時に医者に伝える。したがって、その医療機関における診療記録に記録されている場合には、その記録を利用するが、他の医療機関での受診情報や、職場での健康診断情報が利用されることは希である。

【0003】ところで、すべての医療機関で行った保険診療の診療行為記録、薬歴、病歴は、レセプトに記載されており、患者の所属する保険者が保存している。患者がレセプトの開示を希望した場合は、保険者がレセプトを開示することが平成9年に義務づけられている。このレセプトの開示は、診療報酬明細書等の開示依頼書の提出、本人確認、開示依頼書の受理、保険医療機関等への照会、開示、部分開示または不開示の決定の手順を経て、開示または部分開示が行われる。

【0004】患者である被保険者、被扶養者の資格の確認は、1ヶ月毎に作成されるレセプトで行われ、審査支払機関を経由して保険者が資格審査を行うという手順を踏むため2ヶ月以上を要する。これを改善するシステムとして、特開平11-345263号公報には、資格確認センタに被保険者情報ファイルを置いて資格審査を行う診療支援システムが開示されている。

【0005】しかし、健康保険法第55条で定められているように、資格喪失後においても、継続治療の疾病がある場合には、期限付きで保険医療を受信する権利を有する。そのため、傷病名のような個人のプライバシーに

関する情報も含めて管理する必要が生じる。資格確認センタのように保険者、医療機関のいずれにも属さない中立機関が当該情報を管理することは、患者、医療機関にとって容認できないというあらたな問題が生じる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】従来の診療支援システムは以上のように構成されているので、特別な場合を除き、一般的に曖昧である患者の記憶を手がかりにしなければ、患者の病歴や薬歴等を知ることができず、診療の効率化を図ることができない課題があった。また、レセプトを開示するに際して、保険者、医療機関のいずれにも属さない中立機関が傷病名のような個人のプライバシーに関する情報を管理しなければならず、プライバシーの侵害を招くおそれがある課題があった。

【0007】この発明は上記のような課題を解決するためになされたもので、プライバシーの侵害を招くことなく、診療の効率化を図ることができる診療支援システム及び診療支援方法を得ることを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】この発明に係る診療支援システムは、ＩＣカード読取手段により読み取られた保険証情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求する照会要求手段と、上記照会要求手段から送信された保険証情報を受信すると、その保険証情報から被保険者が所属する保険者を特定し、その保険証情報を当該保険者に送信する保険者特定手段と、上記保険者特定手段から送信された保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索する検索手段と、上記検索手段により検索された被保険者情報を提供する提供手段とを設けたものである。

【0009】この発明に係る診療支援システムは、ＩＣカード読取手段により読み取られた個人識別情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求する照会要求手段と、上記照会要求手段から送信された個人識別情報を受信すると、その個人識別情報を参照して保険証情報を検索し、その保険証情報から被保険者が所属する保険者を特定し、その保険証情報を当該保険者に送信する保険者特定手段と、上記保険者特定手段から送信された保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索する検索手段と、上記検索手段により検索された被保険者情報を提供する提供手段とを設けたものである。

【0010】この発明に係る診療支援システムは、ＩＣカード読取手段により読み取られた保険証情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求する照会要求手段と、保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存する事前保存手段と、上記事前保存手段に保存されている被保険者情報の中から上記照会要求手段より送信された保険証情報に対応する被保険者情報を検索する検索手段と、上記検索手段により検索された

被保険者情報を提供する提供手段とを設けたものである。

【0011】この発明に係る診療支援システムは、ＩＣカード読取手段により読み取られた個人識別情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求する照会要求手段と、保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存する事前保存手段と、上記照会要求手段から送信された個人識別情報を受信すると、その個人識別情報を参照して保険証情報を検索し、上記事前保存手段に保存されている被保険者情報の中から当該保険証情報に対応する被保険者情報を検索する検索手段と、上記検索手段により検索された被保険者情報を提供する提供手段とを設けたものである。

【0012】この発明に係る診療支援システムは、仲介機関が保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存し、上記仲介機関に保存されている被保険者情報の中から照会要求手段より送信された保険証情報に対応する被保険者情報を検索し、その被保険者情報を照会するだけでは情報開示が不十分である場合に限り、その保険証情報を保険者に送信するようにしたものである。

【0013】この発明に係る診療支援システムは、照会要求手段が保険証情報を仲介機関に送信する際、その保険証情報を親展にして送信する一方、検索手段が保険証情報を参照して被保険者情報を検索する際、その親展を開封するようにしたものである。

【0014】この発明に係る診療支援システムは、検索手段が被保険者情報を親展にして送信する一方、提供手段が当該親展を開封して被保険者情報を提供するようにしたものである。

【0015】この発明に係る診療支援システムは、認証機関が管理する認証情報に基づいてＩＣカードの有効性を検証する有効性検証手段を設けたものである。

【0016】この発明に係る診療支援システムは、提供手段が被保険者情報を提供するに際して発行元医療機関又は主治医の承認が必要な場合、検索手段が発行元医療機関又は主治医に対して承認要求を送信し、承認が得られたとき被保険者情報を提供手段に送信するようにしたものである。

【0017】この発明に係る診療支援システムは、ＩＣカード読取手段により読み取られた情報を診療費計算用の計算機に入力するようにしたものである。

【0018】この発明に係る診療支援システムは、ＩＣカードにデビットカード情報が記録されている場合、そのデビットカード情報を参照して診療費の自己負担分を決済する決済手段を設けたものである。

【0019】この発明に係る診療支援システムは、ＩＣカードに診察券情報が記録されている場合、その診察券情報を参照して診療の受け付け処理を実施する受付手段を設けたものである。

【0020】この発明に係る診療支援方法は、医療機関がＩＣカードに記録されている保険証情報を読み取ると、その保険証情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求し、上記仲介機関が当該保険証情報を受信すると、その保険証情報から被保険者が所属する保険者を特定して、その保険証情報を当該保険者に送信し、上記保険者が当該保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索し、上記医療機関が当該被保険者情報を提供するようにしたものである。

【0021】この発明に係る診療支援方法は、医療機関がＩＣカードに記録されている個人識別情報を読み取ると、その個人識別情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求し、上記仲介機関が当該個人識別情報を受信すると、その個人識別情報を参照して保険証情報を検索し、その保険証情報から被保険者が所属する保険者を特定して、その保険証情報を当該保険者に送信し、上記保険者が当該保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索し、上記医療機関が当該被保険者情報を提供するようにしたものである。

【0022】この発明に係る診療支援方法は、仲介機関が保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存する一方、医療機関がＩＣカードに記録されている保険証情報を読み取ると、その保険証情報を上記仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求し、上記仲介機関が保存している被保険者情報の中から当該保険証情報に対応する被保険者情報を検索し、上記医療機関が当該被保険者情報を提供するようにしたものである。

【0023】この発明に係る診療支援方法は、仲介機関が保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存する一方、医療機関がＩＣカードに記録されている個人識別情報を読み取ると、その個人識別情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求し、上記仲介機関が当該個人識別情報を受信すると、その個人識別情報を参照して保険証情報を検索し、保存している被保険者情報の中から当該保険証情報に対応する被保険者情報を検索し、上記医療機関が当該被保険者情報を提供するようにしたものである。

【0024】この発明に係る診療支援方法は、仲介機関が保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存し、上記仲介機関が保存している被保険者情報の中から医療機関より送信された保険証情報に対応する被保険者情報を検索し、その被保険者情報を照会するだけでは情報開示が不十分である場合に限り、その保険証情報を保険者に送信するようにしたものである。

【0025】この発明に係る診療支援方法は、医療機関が保険証情報を仲介機関に送信する際、その保険証情報を親展にして送信する一方、保険者又は仲介機関が保険証情報を参照して被保険者情報を検索する際、その親展を開封するようにしたものである。

【0026】この発明に係る診療支援方法は、保険者又は仲介機関が被保険者情報を親展にして送信する一方、医療機関が当該親展を開封して被保険者情報を提供するようにしたものである。

【0027】この発明に係る診療支援方法は、認証機関が管理する認証情報に基づいてＩＣカードの有効性を検証するようにしたものである。

【0028】この発明に係る診療支援方法は、医療機関が被保険者情報を提供するに際して発行元医療機関又は主治医の承認が必要な場合、保険者が発行元医療機関又は主治医に対して承認要求を送信し、承認が得られたとき被保険者情報を医療機関に送信するようにしたものである。

【0029】この発明に係る診療支援方法は、ＩＣカードに記録されている情報を診療費計算用の計算機に入力するようにしたものである。

【0030】この発明に係る診療支援方法は、ＩＣカードにデビットカード情報が記録されている場合、そのデビットカード情報を参照して診療費の自己負担分を決済するようにしたものである。

【0031】この発明に係る診療支援方法は、ＩＣカードに診察券情報が記録されている場合、その診察券情報を参照して診療の受け付け処理を実施するようにしたものである。

【0032】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の一形態を説明する。

実施の形態１．図１はこの発明の実施の形態１による診療支援システムを示す構成図であり、図において、１は被保険者である患者、２は医療機関、３は仲介機関、４は保険者、５は保険証情報が記録されているＩＣカード、６はＩＣカード５に記録されている保険証情報を読み取るＩＣカード読取手段、７はＩＣカード読取手段６により読み取られた保険証情報を仲介機関３に送信して被保険者情報の照会を要求する被保険者情報照会手段（照会要求手段）である。

【0033】８は被保険者情報照会手段７から送信された保険証情報を受信すると、その保険証情報から患者１が所属する保険者４を特定し、その保険証情報を保険者４に送信する被保険者情報仕分け照会手段（保険者特定手段）、９は被保険者情報仕分け照会手段８から送信された保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索する被保険者情報参照手段（検索手段）、１０は被保険者情報を蓄積するデータベース、１１は被保険者情報参照手段９により検索された被保険者情報を提供する被保険者情報出力手段（提供手段）である。図２はこの発明の実施の形態１による診療支援方法を示すフローチャートである。

【0034】次に動作について説明する。患者１が所有するＩＣカード５には、保険証情報として保険者番号、

被保険者証記号・番号が記録されている。

【0035】医療機関2に設置されているICカード読取手段6は、患者1が所有するICカード5から保険証情報の読み込みを実施する(ステップST100)。ただし、保険証情報ではなく個人識別情報がICカード5に記録されている場合には、その個人識別情報の読み込みを実施する。ここで、個人識別情報とは、患者1を一意に識別することができる識別子であり、かかる識別子としては、例えば、現在検討が行われている国民を一意に識別することができる識別子等が考えられる。なお、個人識別情報は、患者1が所属する地方自治体や所属する保険者、あるいは、その代行者が発行する。

【0036】被保険者情報照会手段7は、ICカード読取手段6が保険証情報を読み取ると、例えば、インターネットのネットワークを利用することにより、その保険証情報を被保険者情報(例えば、レセプト、健康診断情報、資格情報)の照会要求に付加して仲介機関3に送信する(ステップST101)。ただし、ICカード読取手段6が個人識別情報を読み込んでいる場合には、その個人識別情報を被保険者情報の照会要求に付加して仲介機関3に送信する。

【0037】被保険者情報仕分け照会手段8は、保険証情報が付加された被保険者情報の照会要求を受信すると(ステップST200)、その保険証情報から患者1が所属する保険者4を特定し、例えば、インターネットのネットワークを利用することにより、その保険証情報が付加された被保険者情報の照会要求を当該保険者4に送信する(ステップST201)。ただし、個人識別情報が付加された被保険者情報の照会要求を受信した場合には、予め保険者から提供された個人識別情報と保険証情報の対応表を参照して、その個人識別情報に対応する保険証情報を検索する必要がある。

【0038】保険者4の被保険者情報参照手段9は、保険証情報が付加された被保険者情報の照会要求を受信すると(ステップST300)、データベース10に蓄積されている被保険者情報の中から、その保険証情報に対応する被保険者情報を検索し(ステップST301)、その被保険者情報を仲介機関3を介して医療機関2に送信する(ステップST302、ST202、ST203)。なお、レセプトは徐々に電子化される方向にあり、例えば、厚生省が推進しているレセプト電算処理システムに準拠した電子レセプトが該当する。あるいは、スキャナが紙レセプトをイメージとして取り込んだイメージデータや、OCRを用いて読み込んだ情報や、手入力により電子化された情報などが該当する。

【0039】医療機関2の被保険者情報出力手段11は、保険者4から仲介機関3を介して被保険者情報を受信すると(ステップST102)、その被保険者情報をモニタ等に表示する(ステップST103)。ただし、被保険者情報の提供方法は、モニタ出力に限らず、例え

ば、帳票出力でもよい。また、被保険者情報をファイルやデータベースに保存したり、他のシステムに出力してもよい。

【0040】以上で明らかなように、この実施の形態1によれば、医療機関2から送信された保険証情報を受信すると、仲介機関3が当該保険証情報から患者1が所属する保険者4を特定して、その保険証情報を当該保険者4に送信する一方、保険者4が当該保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索し、その被保険者情報を仲介機関3を介して医療機関2に送信するように構成したので、医療機関2が患者1の被保険者情報を取得することができるようになり、その結果、診療の効率化を図ることができる効果を奏する。

【0041】実施の形態2。図3はこの発明の実施の形態2による診療支援システムを示す構成図であり、図において、図1と同一符号は同一または相当部分を示すので説明を省略する。21は保険者4のデータベース10に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に参照する被保険者情報事前参照手段、22は被保険者情報事前参照手段21により参照された被保険者情報を仲介機関3に送信する被保険者情報提供手段、23は被保険者情報提供手段22により送信された被保険者情報を保存するデータベースである。なお、被保険者情報事前参照手段21、被保険者情報提供手段22及びデータベース23から事前保存手段が構成されている。

【0042】24は図1の被保険者情報照会手段7と同様に機能する他に、データベース23に保存されている被保険者情報の中から保険証情報に対応する被保険者情報を検索する被保険者情報照会手段(照会要求手段、検索手段)である。図4はこの発明の実施の形態2による診療支援方法を示すフローチャートである。

【0043】次に動作について説明する。上記実施の形態1では、仲介機関3が常に保険証情報から患者1が所属する保険者4を特定して、その保険証情報を当該保険者4に送信し、当該保険者4が保険証情報を参照して被保険者情報を検索するものについて示したが、仲介機関3が保険者4に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信してデータベース23に保存し、そのデータベース23に保存されている被保険者情報の中から保険証情報に対応する被保険者情報を検索し、その被保険者情報を照会するだけでは情報開示が不十分である場合に限り、その保険証情報を保険者4に送信するようにしてもよい。具体的には次の通りである。

【0044】まず、保険者4の被保険者情報事前参照手段21が、保険者4のデータベース10に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に参照して(ステップST310)、被保険者情報提供手段22が当該被保険者情報を仲介機関3に送信し(ステップST311)、仲介機関3のデータベース23が、被保険者情報提供手段22により送信された被保険者情報を受信して保存する

(ステップST210, ST211)。

【0045】ただし、被保険者情報のうち、傷病名のよう個人プライバシーに関する情報については事前に参照することはない。なお、ステップST310, ST311及びステップST210, ST211の処理は、例えば1日1度夜間に実施することにより、被保険者情報を最新の状態に維持する。

【0046】一方、被保険者情報照会手段24は、上記実施の形態1と同様に、医療機関2から保険証情報が付加された被保険者情報の照会要求を受信すると(ステップST200)、仲介機関3のデータベース23に保存されている被保険者情報の中から当該保険証情報に対応する被保険者情報を検索する(ステップST212)。ただし、個人識別情報が付加された被保険者情報の照会要求を受信した場合には、予め保険者から提供された個人識別情報と保険証情報の対応表を参照して、その個人識別情報に対応する保険証情報を検索する必要がある。

【0047】次に、被保険者情報照会手段24は、検索した被保険者情報を照会するだけで十分な情報開示であるか否かを判定する(ステップST213)。例えば、被保険者情報に含まれている資格情報から、健康保険法第55条に該当する資格喪失後の受診対象である可能性が判明したような場合には、患者1の傷病名を知る必要があるため、検索した被保険者情報を照会するだけでは、十分な情報開示でないと判定する。

【0048】被保険者情報照会手段24は、十分な情報開示であると判定する場合、その検索した被保険者情報を医療機関2に送信し(ステップST214)、医療機関2の被保険者情報出力手段11が当該被保険者情報を受信して(ステップST110)、その被保険者情報をモニタ等に表示する(ステップST111)。ただし、被保険者情報の提供方法は、モニタ出力に限らず、例えば、帳票出力でもよい。また、被保険者情報をファイルやデータベースに保存したり、他のシステムに出力してもよい。

【0049】被保険者情報照会手段24は、十分な情報開示でないと判定する場合、上記実施の形態1と同様に、保険証情報から患者1が所属する保険者4を特定して、その保険証情報を当該保険者4に送信する(ステップST201)。以下、上記実施の形態1と同様であるため説明を省略する。

【0050】以上で明らかなように、この実施の形態2によれば、仲介機関3が保険者4に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信してデータベース23に保存し、そのデータベース23に保存されている被保険者情報の中から保険証情報に対応する被保険者情報を検索し、その被保険者情報を照会するだけでは情報開示が不十分である場合に限り、その保険証情報を保険者4に送信するように構成したので、プライバシーの侵害を招く

ことなく、診療の効率化を図ることができる効果を奏する。

【0051】実施の形態3。図5はこの発明の実施の形態3による診療支援システムを示す構成図であり、図において、図1と同一符号は同一または相当部分を示すので説明を省略する。31は認証機関、32はICカード5の有効性の検証を要求するカード有効性照会手段、33は認証機関31が管理する認証情報に基づいてICカード5の有効性を検証するカード有効性確認手段である。なお、カード有効性照会手段32及びカード有効性確認手段33から有効性検証手段が構成されている。

【0052】34は被保険者情報照会手段7が保険証情報を仲介機関3に送信するに際して、その保険証情報(保険者番号を除く)が付加された被保険者情報の照会要求を親展にするとともに、電子署名を施す親展・電子署名手段、35は認証機関31が管理している認証情報に基づいて電子署名が施された情報の署名確認を行う署名確認手段、36は被保険者情報参照手段9が保険証情報を参照して被保険者情報を検索するに際して、その親展を開封して電子署名の確認を要求する署名確認・親展開封手段である。

【0053】37は被保険者情報仕分け照会手段8が被保険者情報を送信するに際して、その被保険者情報を親展にするとともに、電子署名を施す親展・電子署名手段、38は被保険者情報照会手段7が被保険者情報を被保険者情報出力手段11に出力するに際して、その親展を開封して電子署名の確認を要求する署名確認・親展開封手段である。図6はこの発明の実施の形態3による診療支援方法を示すフローチャートである。

【0054】次に動作について説明する。医療機関2に設置されているICカード読取手段6は、上記実施の形態1と同様に、患者1が所有するICカード5から保険証情報の読み込みを実施する(ステップST100)。ただし、保険証情報ではなく個人識別情報がICカード5に記録されている場合には、その個人識別情報の読み込みを実施する。

【0055】被保険者情報照会手段7のカード有効性照会手段32は、認証機関31に対してICカード5の有効性(例えば、カードの有効期限失効、無効等の有効性)の検証を要求する(ステップST120)。カード有効性確認手段33は、ICカード5の有効性の検証要求を受けると、認証機関31が管理する認証情報に基づいてICカード5の有効性を検証する。

【0056】親展・電子署名手段34は、ICカード5の有効性が認められた場合、被保険者情報照会手段7が保険証情報を仲介機関3に送信するに際して、その保険証情報(保険者番号を除く)が付加された被保険者情報の照会要求を親展にするとともに、電子署名を施す(ステップST121)。ただし、個人識別情報が読み込まれた場合には、その個人識別情報が付加された被保険者

情報の照会要求を親展にする。親展・電子署名は、一般に知られている公開鍵暗号系等の手段を用いて実現することができる。例えば、被保険者情報の照会先である保険者4の公開鍵で親展データを作成し、ICカード5に含まれる患者の秘密鍵を用いて電子署名を施すようにする。

【0057】被保険者情報照会手段7は、親展・電子署名手段34が親展を作成すると、例えば、インターネットのネットワークを利用することにより、その親展に照会先保険者を示す保険者番号を付加して仲介機関3に送信する(ステップST122)。

【0058】被保険者情報仕分け照会手段8は、保険者番号が付加された親展を受信すると(ステップST220)、その保険者番号から患者1が所属する保険者4を特定し、例えば、インターネットのネットワークを利用することにより、その保険者番号が付加された親展を当該保険者4に送信する(ステップST221)。

【0059】保険者4の署名確認・親展開封手段36は、保険者番号が付加された親展を受信すると(ステップST320)、被保険者情報参照手段9が保険証情報を参照して被保険者情報を検索するに際して、その親展を開封するとともに、認証機関31に対して電子署名の確認を要求する(ステップST321)。

【0060】被保険者情報参照手段9は、電子署名が確認されると、データベース10に蓄積されている被保険者情報の中から、親展に含まれていた保険証情報に対応する被保険者情報を検索する(ステップST301)。ただし、親展に個人識別情報が含まれている場合には、個人識別情報と保険証情報の対応表を参照して、その個人識別情報に対応する保険証情報を検索する必要がある。親展・電子署名手段37は、被保険者情報仕分け照会手段8が被保険者情報を送信するに際して、その被保険者情報を親展にするとともに、電子署名を施す(ステップST322)。

【0061】被保険者情報参照手段9は、親展・電子署名手段37が親展を作成すると、例えば、インターネットのネットワークを利用することにより、その親展を仲介機関3を介して医療機関2に送信する(ステップST323、ST222、ST223)。

【0062】医療機関2の署名確認・親展開封手段38は、親展を受信すると(ステップST123)、被保険者情報照会手段7が被保険者情報を被保険者情報出力手段11に出力するに際して、その親展を開封するとともに、認証機関31に対して電子署名の確認を要求する(ステップST124)。被保険者情報照会手段7は、電子署名が確認されると、親展に含まれていた被保険者情報を被保険者情報出力手段11に出力し、被保険者情報出力手段11は、その被保険者情報をモニタ等に表示する(ステップST103)。

【0063】以上で明らかなように、この実施の形態3

によれば、医療機関2が保険証情報を仲介機関3に送信する際、その保険証情報を親展にして送信する一方、保険者4が保険証情報を参照して被保険者情報を検索する際、その親展を開封するように構成したので、ネットワークや仲介機関3において、保険証情報の改竄、漏洩や否認を防止することができる効果を奏する。

【0064】また、この実施の形態3によれば、保険者4が被保険者情報を親展にして送信する一方、医療機関2が当該親展を開封して被保険者情報を提供するように構成したので、ネットワークや仲介機関3において、被保険者情報の改竄、漏洩や否認を防止することができる効果を奏する。

【0065】さらに、この実施の形態3によれば、認証機関31が管理する認証情報に基づいてICカード5の有効性を検証するように構成したので、患者本人の確認を確実に行うことができる効果を奏する。

【0066】実施の形態4. 図7はこの発明の実施の形態4による診療支援システムを示す構成図であり、図において、図3及び図5と同一符号は同一または相当部分を示すので説明を省略する。40は被保険者情報照会手段24が保険証情報を参照して被保険者情報を検索するに際して、その親展を開封して電子署名の確認を要求する署名確認・親展開封手段である。図8はこの発明の実施の形態4による診療支援方法を示すフローチャートである。

【0067】次に動作について説明する。上記実施の形態3では、図1の構成に親展の作成・開封を行う手段を追加するものについて示したが、図2のように、仲介機関3が事前に被保険者情報を受信して保存する構成に対して、親展の作成・開封を行う手段を追加するようにしてもよい。具体的には次の通りである。

【0068】まず、保険者4の被保険者情報事前参照手段21が、保険者4のデータベース10に蓄積されている被保険者情報を事前に参照すると(ステップST310)、親展・電子署名手段37が被保険者情報を親展にするとともに、電子署名を施し(ステップST330)、被保険者情報提供手段22が当該親展を仲介機関3に送信する(ステップST311)。仲介機関3のデータベース23は、被保険者情報提供手段22により送信された親展を受信して保存する(ステップST210、ST211)。

【0069】この実施の形態4では、上記実施の形態3と異なり、傷病名のような個人のプライバシーに関する情報についても事前に参照する。なお、ステップST310、ST330、ST311及びステップST210、ST211の処理は、例えば1日1度夜間に実施することにより、被保険者情報を最新の状態に維持する。

【0070】一方、医療機関2の親展・電子署名手段34は、ICカード5の有効性が認められた場合、保険証情報が付加された被保険者情報の照会要求情報を親展に

するとともに、電子署名を施し（ステップST130）、被保険者情報照会手段24が当該親展を仲介機関3に送信する（ステップST131）。

【0071】仲介機関3の署名確認・親展開封手段40は、親展を受信すると（ステップST230）、被保険者情報照会手段24が保険証情報を参照して被保険者情報を検索するに際して、その親展を開封して電子署名の確認を要求する（ステップST231）。

【0072】被保険者情報照会手段24は、仲介機関3のデータベース23に保存されている親展（被保険者情報を含む進展）の中から、署名確認・親展開封手段40から出力された保険証情報に対応する親展を検索し（ステップST232）、例えば、インターネットのネットワークを利用することにより、その親展を医療機関2に送信する（ステップST233）。

【0073】医療機関2の署名確認・親展開封手段38は、親展を受信すると（ステップST123）、被保険者情報照会手段24が被保険者情報を被保険者情報出力手段11に出力するに際して、その親展を開封するとともに、認証機関31に対して電子署名の確認を要求する（ステップST124）。被保険者情報照会手段24は、電子署名が確認されると、親展に含まれていた被保険者情報を被保険者情報出力手段11に出力し、被保険者情報出力手段11は、その被保険者情報をモニタ等に表示する（ステップST103）。

【0074】以上で明らかなように、この実施の形態4によれば、保険者4が事前に被保険者情報を親展にして送信する一方、医療機関2が当該親展を開封して被保険者情報を提供するように構成したので、ネットワークや仲介機関3において、被保険者情報の改竄、漏洩や否認を防止することができる効果を奏する。

【0075】実施の形態5、図9はこの発明の実施の形態5による診療支援システムを示す構成図であり、図において、図1と同一符号は同一または相当部分を示すので説明を省略する。50は被保険者情報発行医療機関、51は被保険者情報仕分け照会手段8から送信された保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索する一方、被保険者情報出力手段11が被保険者情報を提供するに際して被保険者情報発行医療機関50又は主治医の承認が必要な場合、開示可否の回答を要求する被保険者情報参照手段（検索手段）である。

【0076】52は被保険者情報参照手段51から出力された開示可否の回答要求に医療機関識別子を付加して仲介機関3に送信する開示要求手段、53は医療機関識別子に基づいて開示可否の回答要求を医療機関毎に仕分けて、その開示可否の回答要求を該当する医療機関に送信する開示要求仕分け手段、54は主治医の判断にしたがって開示可否を回答する開示可否回答手段である。図10はこの発明の実施の形態5による診療支援方法を示

すフローチャートである。

【0077】次に動作について説明する。保険者4の被保険者情報参照手段51は、上記実施の形態1と同様にして、データベース10に蓄積されている被保険者情報の中から、その保険証情報に対応する被保険者情報を検索すると（ステップST301）、その被保険者情報を提供するに際して主治医の承認が必要であるか否かを判定する（ステップST340）。例えば、被保険者情報に承認が必要である旨のフラグが付加されている場合には、主治医の承認が必要であると判断する。

【0078】被保険者情報参照手段51は、主治医の承認が必要でない場合はステップST343の処理に進むが、主治医の承認が必要である場合、開示可否の回答を要求する（ステップST341）。即ち、被保険者情報の照会要求と、保険証情報と、被保険者情報と、医療機関識別子とがセットされた開示可否回答要求を開示要求手段52に出力し、開示要求手段52が仲介機関3に送信する。

【0079】開示要求仕分け手段53は、開示可否回答要求を受信すると（ステップST240）、その開示可否回答要求に含まれている医療機関識別子に基づいて開示可否回答要求を医療機関毎に仕分けて、その開示可否回答要求を被保険者情報発行医療機関50に送信する（ステップST241）。

【0080】被保険者情報発行医療機関50の開示可否回答手段54は、開示可否回答要求を受信すると（ステップST400）、その開示可否回答要求を主治医に提供することにより、主治医の判断を仰ぎ、その開示可否の回答を仲介機関3を介して依頼元の保険者4に返送する（ステップST401、ST242、ST243）。ただし、その回答が部分開示の場合は、その開示範囲も依頼元の保険者4に返送する。

【0081】保険者4の被保険者情報参照手段51は、開示可否の回答を受信すると（ステップST342）、主治医の回答が開示可の場合には、上記実施の形態1と同様に、被保険者情報を仲介機関3を介して医療機関2に送信する（ステップST343、ST244、ST245）。ただし、回答が部分開示の場合は、被保険者情報の一部を送信する。一方、主治医の回答が開示不可の場合には、不開示情報を仲介機関3を介して医療機関2に送信する（ステップST343、ST244、ST245）。

【0082】医療機関2の被保険者情報出力手段11は、保険者4から仲介機関3を介して被保険者情報又は不開示情報を受信すると（ステップST140）、その被保険者情報又は不開示情報をモニタ等に表示する（ステップST141）。

【0083】以上で明らかなように、この実施の形態5によれば、医療機関2が被保険者情報を提供するに際して被保険者情報発行医療機関50又は主治医の承認が必

要な場合、被保険者情報発行医療機関50又は主治医に対して承認要求を送信し、承認が得られたとき被保険者情報を医療機関2に送信するように構成したので、主治医等の承認が得られた場合のみ、被保険者情報を開示するシステムを構築することができる効果を奏する。

【0084】実施の形態6. 図11はこの発明の実施の形態6による診療支援システムを示す構成図であり、図において、図1と同一符号は同一または相当部分を示すので説明を省略する。60は金融機関、61は患者1の資格情報を蓄積するデータベース、62はデータベース61に蓄積されている資格情報を事前に参照する資格情報事前参照手段、63は資格情報事前参照手段62により参照された資格情報を仲介機関3に送信する資格情報提供手段、64は資格情報を事前に保存するデータベース、65は患者1が診療を受ける資格を有するか否かを審査する資格情報照会手段である。

【0085】66はICカード読取手段6により読み取られた保険証情報を仲介機関3に送信する診療照会手段、67は保険証情報を該当する保険者4毎に仕分ける診療情報仕分け照会手段、68は保険証情報を参照して患者1の診療情報を検索する診療情報参照手段、69は患者1の診療情報を蓄積するデータベースである。

【0086】70はICカード読取手段6により読み取られた保険証情報の他、氏名・性別・生年月日等の患者個人情報と医事会計手段71へ電子的に転記する保険証情報転記手段、71は診療費の計算等を実行する医事会計手段(診療費計算用の計算機)、72はICカード5にデビットカード情報が記録されている場合、そのデビットカード情報を参照して診療費の自己負担分の決済を要求する自己負担分決済手段(決済手段)、73は金融機関60の口座、74はICカード5に記録されている診察券情報を参照してカルテ出庫、予約、予約確認等の受付処理を行う受付手段である。図12はこの発明の実施の形態6による診療支援方法を示すフローチャートである。

【0087】次に動作について説明する。まず、保険者4の資格情報事前参照手段62が、保険者4のデータベース61に蓄積されている資格情報を事前に参照して(ステップST350)、資格情報提供手段63が当該資格情報を仲介機関3に送信し(ステップST351)、仲介機関3のデータベース64が、資格情報提供手段63により送信された資格情報を受信して保存する(ステップST250、ST251)。

【0088】一方、医療機関2に設置されているICカード読取手段6は、患者1が所有するICカード5から保険証情報、診察券情報及びデビットカード情報の読み込みを実施し(ステップST150)、その保険証情報が付加された資格審査要求を仲介機関3に送信する(ステップST151)。

【0089】資格情報照会手段65は、保険証情報が付

加された資格審査要求を受信すると(ステップST252)、データベース64に保存されている資格情報の中から、その保険証情報に対応する資格情報を検索し、その資格情報に基づいて患者1が診療を受ける資格を有するか否かを審査する(ステップST253)。そして、その審査結果を照会元の医療機関2に送信する(ステップST254)。

【0090】次に、医療機関2の受付手段74は、ICカード5に記録されている診察券情報を参照してカルテ出庫、予約、予約確認等の受付処理を実施する(ステップST152)。診療照会手段66は、診療を行う上で、過去の診療情報(傷病履歴、薬歴、診療履歴等の情報)が必要であるか否かを判断し(ステップST153)、過去の診療情報が必要であると判断する場合には、保険証情報が付加された診察情報照会要求を仲介機関3に送信する(ステップST154)。

【0091】診療情報仕分け照会手段67は、保険証情報が付加された診察情報照会要求を受信すると(ステップST255)、その保険証情報から患者1が所属する保険者4を特定し、その保険証情報が付加された診察情報照会要求を当該保険者4に送信する(ステップST256)。

【0092】診療情報参照手段68は、保険証情報が付加された診察情報照会要求を受信すると(ステップST352)、その保険証情報を参照して患者1の診療情報を検索し(ステップST353)、その診療情報を仲介機関3を介して医療機関2に送信する(ステップST354、ST257、ST258)。

【0093】医療機関2の被保険者情報出力手段11は、保険者4から仲介機関3を介して診療情報を受信すると(ステップST158)、その診療情報をモニタ等に表示する(ステップST159)。

【0094】また、保険証情報転記手段70は、仲介機関3から審査結果を受信し(ステップST155)、患者1が診療を受ける資格を有する場合、ICカード読取手段6により読み取られた保険証情報と、氏名・性別・生年月日等の患者個人情報を医事会計手段71へ電子的に転記する(ステップST156)。医事会計手段71は、保険証情報や患者個人情報の入力を受け付けると、それらの情報に基づいて診療費の計算等を実行する。

【0095】自己負担分決済手段72は、ICカード5にデビットカード情報が記録されている場合、そのデビットカード情報を参照して診療費の自己負担分の決済要求を金融機関60に送信する(ステップST157)。金融機関60は、自己負担分の決済要求を受信すると(ステップST500)、患者1の口座73から自己負担分の決済を行う(ステップST501)。

【0096】以上で明らかなように、この実施の形態6によれば、ICカード読取手段6により読み取られた保

険証情報や患者個人情報を医事会計手段 7 1 へ電子的に転記するように構成したので、入力ミスによる診療報酬請求の遅延を防止することができる効果を奏する。

【0097】また、この実施の形態 6 によれば、ＩＣカード 5 にデビットカード情報が記録されている場合、そのデビットカード情報を参照して診療費の自己負担分を決済するように構成したので、現金を使用せずに、ＩＣカード 5 を提出するだけで、診療費の支払いを行うことができる結果、会計処理の効率化を図ることができる効果を奏する。

【0098】さらに、この実施の形態 6 によれば、ＩＣカード 5 に診察券情報が記録されている場合、その診察券情報を参照して診療の受け付け処理を実施するように構成したので、ＩＣカード 5 を提出するだけで、診療の受付処理が実施される結果、受付処理の効率化を図ることができる効果を奏する。

【0099】

【発明の効果】以上のように、この発明によれば、ＩＣカード読取手段により読み取られた保険証情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求する照会要求手段と、上記照会要求手段から送信された保険証情報を受信すると、その保険証情報から被保険者が所属する保険者を特定し、その保険証情報を当該保険者に送信する保険者特定手段と、上記保険者特定手段から送信された保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索する検索手段と、上記検索手段により検索された被保険者情報を提供する提供手段とを設けるように構成したので、医療機関が被保険者情報を取得することができるようになり、その結果、診療の効率化を図ることができる効果がある。

【0100】この発明によれば、ＩＣカード読取手段により読み取られた個人識別情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求する照会要求手段と、上記照会要求手段から送信された個人識別情報を受信すると、その個人識別情報を参照して保険証情報を検索し、その保険証情報から被保険者が所属する保険者を特定し、その保険証情報を当該保険者に送信する保険者特定手段と、上記保険者特定手段から送信された保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索する検索手段と、上記検索手段により検索された被保険者情報を提供する提供手段とを設けるように構成したので、医療機関が被保険者情報を取得することができるようになり、その結果、診療の効率化を図ることができる効果がある。

【0101】この発明によれば、ＩＣカード読取手段により読み取られた保険証情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求する照会要求手段と、保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存する事前保存手段と、上記事前保存手段に保存されている被保険者情報の中から上記照会要求手段より送信され

た保険証情報に対応する被保険者情報を検索する検索手段と、上記検索手段により検索された被保険者情報を提供する提供手段とを設けるように構成したので、医療機関が被保険者情報を取得することができるようになり、その結果、診療の効率化を図ることができる効果がある。

【0102】この発明によれば、ＩＣカード読取手段により読み取られた個人識別情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求する照会要求手段と、保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存する事前保存手段と、上記照会要求手段から送信された個人識別情報を受信すると、その個人識別情報を参照して保険証情報を検索し、上記事前保存手段に保存されている被保険者情報の中から当該保険証情報に対応する被保険者情報を検索する検索手段と、上記検索手段により検索された被保険者情報を提供する提供手段とを設けるように構成したので、医療機関が被保険者情報を取得することができるようになり、その結果、診療の効率化を図ることができる効果がある。

【0103】この発明によれば、仲介機関が保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存し、上記仲介機関に保存されている被保険者情報の中から照会要求手段より送信された保険証情報に対応する被保険者情報を検索し、その被保険者情報を照会するだけでは情報開示が不十分である場合に限り、その保険証情報を保険者に送信するように構成したので、プライバシーの侵害を招くことなく、診療の効率化を図ることができる効果がある。

【0104】この発明によれば、照会要求手段が保険証情報を仲介機関に送信する際、その保険証情報を親展にして送信する一方、検索手段が保険証情報を参照して被保険者情報を検索する際、その親展を開封するように構成したので、ネットワークや仲介機関において、保険証情報の改竄、漏洩や否認を防止することができる効果がある。

【0105】この発明によれば、検索手段が被保険者情報を親展にして送信する一方、提供手段が当該親展を開封して被保険者情報を提供するよう構成したので、ネットワークや仲介機関において、被保険者情報の改竄、漏洩や否認を防止することができる効果がある。

【0106】この発明によれば、認証機関が管理する認証情報に基づいてＩＣカードの有効性を検証する有効性検証手段を設けるように構成したので、患者本人の確認を確実に行うことができる効果がある。

【0107】この発明によれば、提供手段が被保険者情報を提供するに際して発行元医療機関又は主治医の承認が必要な場合、検索手段が発行元医療機関又は主治医に対して承認要求を送信し、承認が得られたとき被保険者情報を提供手段に送信するように構成したので、主治医等の承認が得られた場合のみ、被保険者情報を開示する

システムを構築することができる効果がある。

【0108】この発明によれば、ＩＣカード読取手段により読み取られた情報を診療費計算用の計算機に入力するように構成したので、入力ミスによる診療報酬請求の遅延を防止することができる効果がある。

【0109】この発明によれば、ＩＣカードにデビットカード情報が記録されている場合、そのデビットカード情報を参照して診療費の自己負担分を決済する決済手段を設けるように構成したので、現金を使用せずに、ＩＣカードを提出するだけで、診療費の支払いを行うことができる結果、会計処理の効率化を図ることができる効果がある。

【0110】この発明によれば、ＩＣカードに診察券情報が記録されている場合、その診察券情報を参照して診療の受け付け処理を実施する受付手段を設けるように構成したので、ＩＣカードを提出するだけで、診療の受付処理が実施される結果、受付処理の効率化を図ることができる効果がある。

【0111】この発明によれば、医療機関がＩＣカードに記録されている保険証情報を読み取ると、その保険証情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求し、上記仲介機関が当該保険証情報を受信すると、その保険証情報から被保険者が所属する保険者を特定して、その保険証情報を当該被保険者に送信し、上記被保険者が当該保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索し、上記医療機関が当該被保険者情報を提供するように構成したので、医療機関が被保険者情報を取得することができるようになり、その結果、診療の効率化を図ることができる効果がある。

【0112】この発明によれば、医療機関がＩＣカードに記録されている個人識別情報を読み取ると、その個人識別情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求し、上記仲介機関が当該個人識別情報を受信すると、その個人識別情報を参照して保険証情報を検索し、その保険証情報から被保険者が所属する保険者を特定して、その保険証情報を当該被保険者に送信し、上記被保険者が当該保険証情報を受信すると、その保険証情報を参照して被保険者情報を検索し、上記医療機関が当該被保険者情報を提供するように構成したので、医療機関が被保険者情報を取得することができるようになり、その結果、診療の効率化を図ることができる効果がある。

【0113】この発明によれば、仲介機関が保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存する一方、医療機関がＩＣカードに記録されている保険証情報を読み取ると、その保険証情報を上記仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求し、上記仲介機関が保存している被保険者情報の中から当該保険証情報に対応する被保険者情報を検索し、上記医療機関が当該被保険者情報を提供するように構成したので、医療機関が被保険者情報を取得することができるようになり、その結

果、診療の効率化を図ることができる効果がある。

【0114】この発明によれば、仲介機関が保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存する一方、医療機関がＩＣカードに記録されている個人識別情報を読み取ると、その個人識別情報を仲介機関に送信して被保険者情報の照会を要求し、上記仲介機関が当該個人識別情報を受信すると、その個人識別情報を参照して保険証情報を検索し、保存している被保険者情報の中から当該保険証情報に対応する被保険者情報を検索し、上記医療機関が当該被保険者情報を提供するように構成したので、医療機関が被保険者情報を取得することができるようになり、その結果、診療の効率化を図ることができる効果がある。

【0115】この発明によれば、仲介機関が保険者に蓄積されている被保険者情報の一部を事前に受信して保存し、上記仲介機関が保存している被保険者情報の中から医療機関より送信された保険証情報に対応する被保険者情報を検索し、その被保険者情報を照会するだけでは情報開示が不十分である場合に限り、その保険証情報を保険者に送信するように構成したので、プライバシーの侵害を招くことなく、診療の効率化を図ることができる効果がある。

【0116】この発明によれば、医療機関が保険証情報を仲介機関に送信する際、その保険証情報を親展にして送信する一方、保険者又は仲介機関が保険証情報を参照して被保険者情報を検索する際、その親展を開封するように構成したので、ネットワークや仲介機関において、保険証情報の改竄、漏洩や否認を防止することができる効果がある。

【0117】この発明によれば、保険者又は仲介機関が被保険者情報を親展にして送信する一方、医療機関が当該親展を開封して被保険者情報を提供するように構成したので、ネットワークや仲介機関において、被保険者情報の改竄、漏洩や否認を防止することができる効果がある。

【0118】この発明によれば、認証機関が管理する認証情報に基づいてＩＣカードの有効性を検証するように構成したので、患者本人の確認を確実に行うことができる効果がある。

【0119】この発明によれば、医療機関が被保険者情報を提供するに際して発行元医療機関又は主治医の承認が必要な場合、保険者が発行元医療機関又は主治医に対して承認要求を送信し、承認が得られたとき被保険者情報を医療機関に送信するように構成したので、主治医等の承認が得られた場合のみ、被保険者情報を開示するシステムを構築することができる効果がある。

【0120】この発明によれば、ＩＣカードに記録されている情報を診療費計算用の計算機に入力するように構成したので、入力ミスによる診療報酬請求の遅延を防止することができる効果がある。

【0121】この発明によれば、ICカードにデビットカード情報が記録されている場合、そのデビットカード情報を参照して診療費の自己負担分を決済するように構成したので、現金を使用せずに、ICカードを提出するだけで、診療費の支払いを行うことができる結果、会計処理の効率化を図ることができる効果がある。

【0122】この発明によれば、ICカードに診察券情報が記録されている場合、その診察券情報を参照して診療の受け付け処理を実施するように構成したので、ICカードを提出するだけで、診療の受付処理が実施される結果、受付処理の効率化を図ることができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の実施の形態1による診療支援システムを示す構成図である。

【図2】 この発明の実施の形態1による診療支援方法を示すフローチャートである。

【図3】 この発明の実施の形態2による診療支援システムを示す構成図である。

【図4】 この発明の実施の形態2による診療支援方法を示すフローチャートである。

【図5】 この発明の実施の形態3による診療支援システムを示す構成図である。

【図6】 この発明の実施の形態3による診療支援方法を示すフローチャートである。

【図7】 この発明の実施の形態4による診療支援システムを示す構成図である。

【図8】 この発明の実施の形態4による診療支援方法を示すフローチャートである。

【図9】 この発明の実施の形態5による診療支援システムを示す構成図である。

【図10】 この発明の実施の形態5による診療支援方

法を示すフローチャートである。

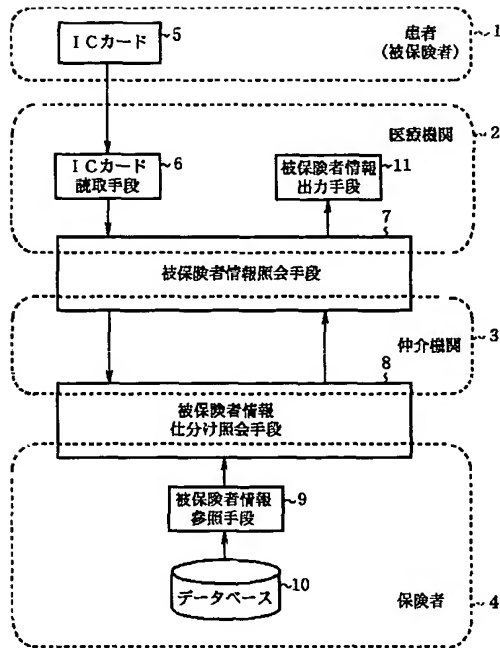
【図11】 この発明の実施の形態6による診療支援システムを示す構成図である。

【図12】 この発明の実施の形態6による診療支援方法を示すフローチャートである。

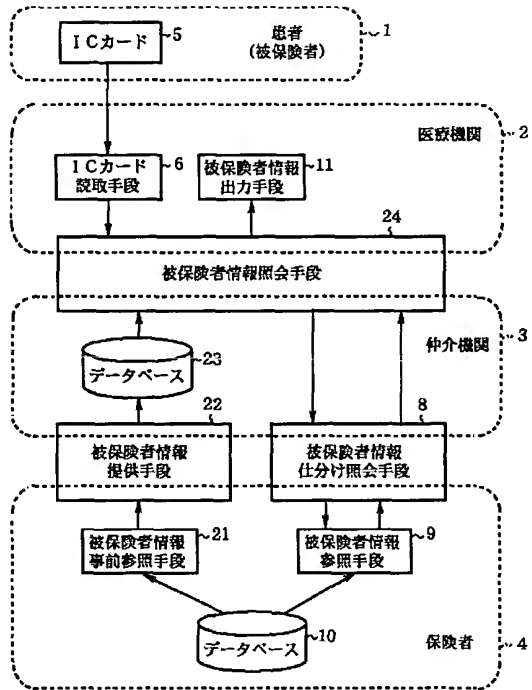
【符号の説明】

1 患者(被保険者)、2 医療機関、3 仲介機関、4 保険者、5 ICカード、6 ICカード読取手段、7 被保険者情報照会手段(照会要求手段)、8 被保険者情報仕分け照会手段(保険者特定手段)、9 被保険者情報参照手段(検索手段)、10 データベース、11 被保険者情報出力手段(提供手段)、21 被保険者情報事前参照手段(事前保存手段)、22 被保険者情報提供手段(事前保存手段)、23 データベース(事前保存手段)、24 被保険者情報照会手段(照会要求手段、検索手段)、31 認証機関、32 カード有効性照会手段(有効性検証手段)、33 カード有効性確認手段(有効性検証手段)、34 親展・電子署名手段、35 署名確認手段、36 署名確認・親展開封手段、37 親展・電子署名手段、38 署名確認・親展開封手段、40 署名確認・親展開封手段、50 被保険者情報発行医療機関、51 被保険者情報参照手段(検索手段)、52 開示要求手段、53 開示要求仕分け手段、54 開示可否回答手段、60 金融機関、61 データベース、62 資格情報事前参照手段、63 資格情報提供手段、64 データベース、65 資格情報照会手段、66 診療照会手段、67 診療情報仕分け照会手段、68 診療情報参照手段、69 データベース、70 保険証情報転記手段、71 医事会計手段(診療費計算用の計算機)、72 自己負担分決済手段(決済手段)、73 口座、74 受付手段。

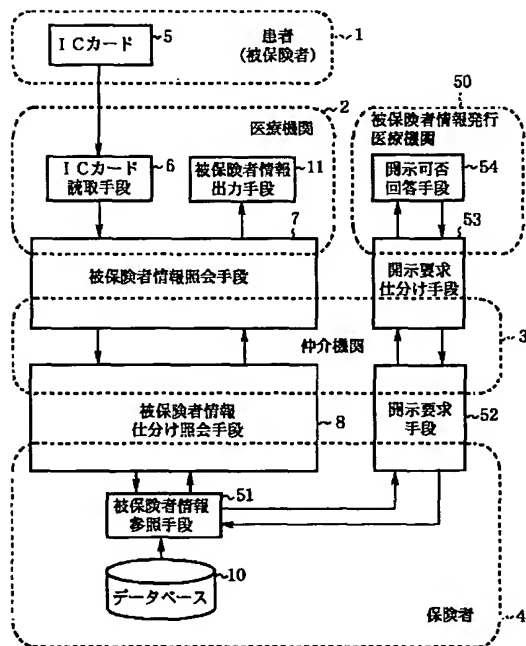
【図1】



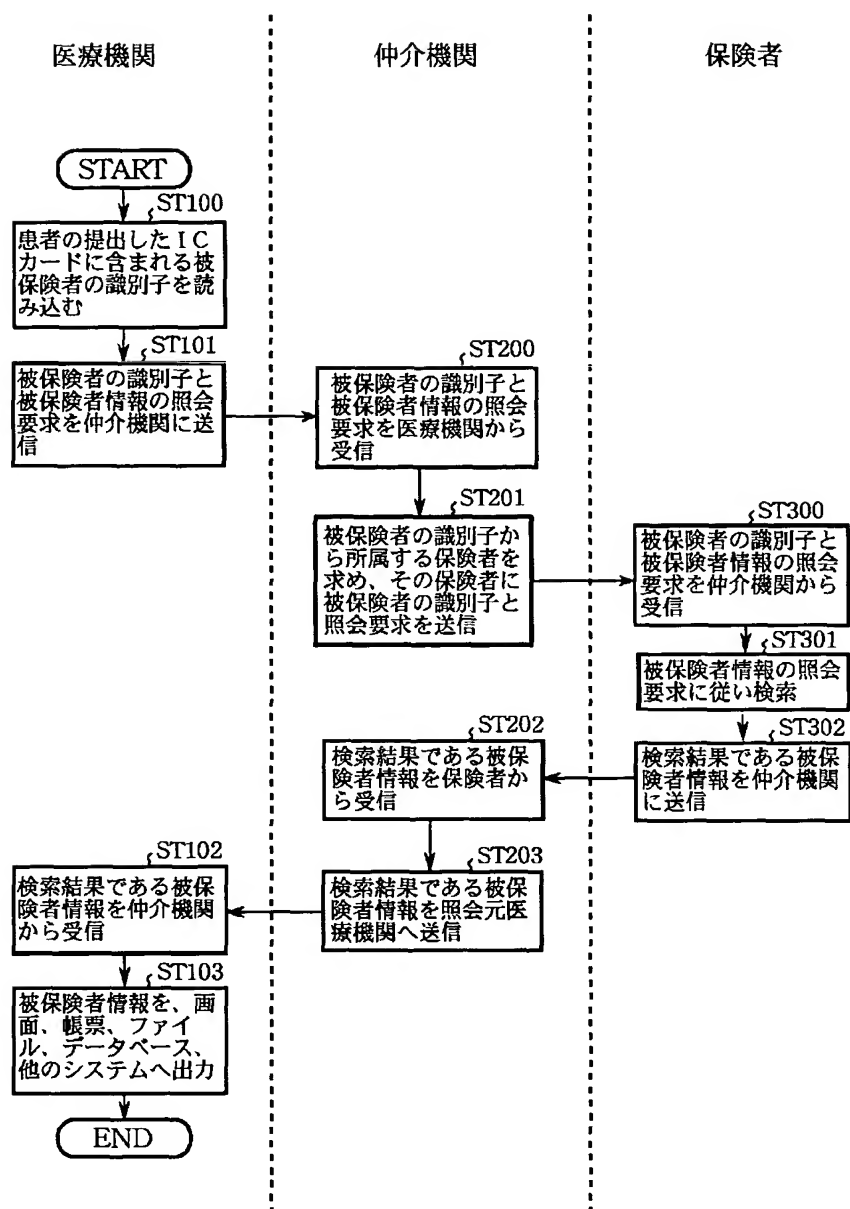
【図3】



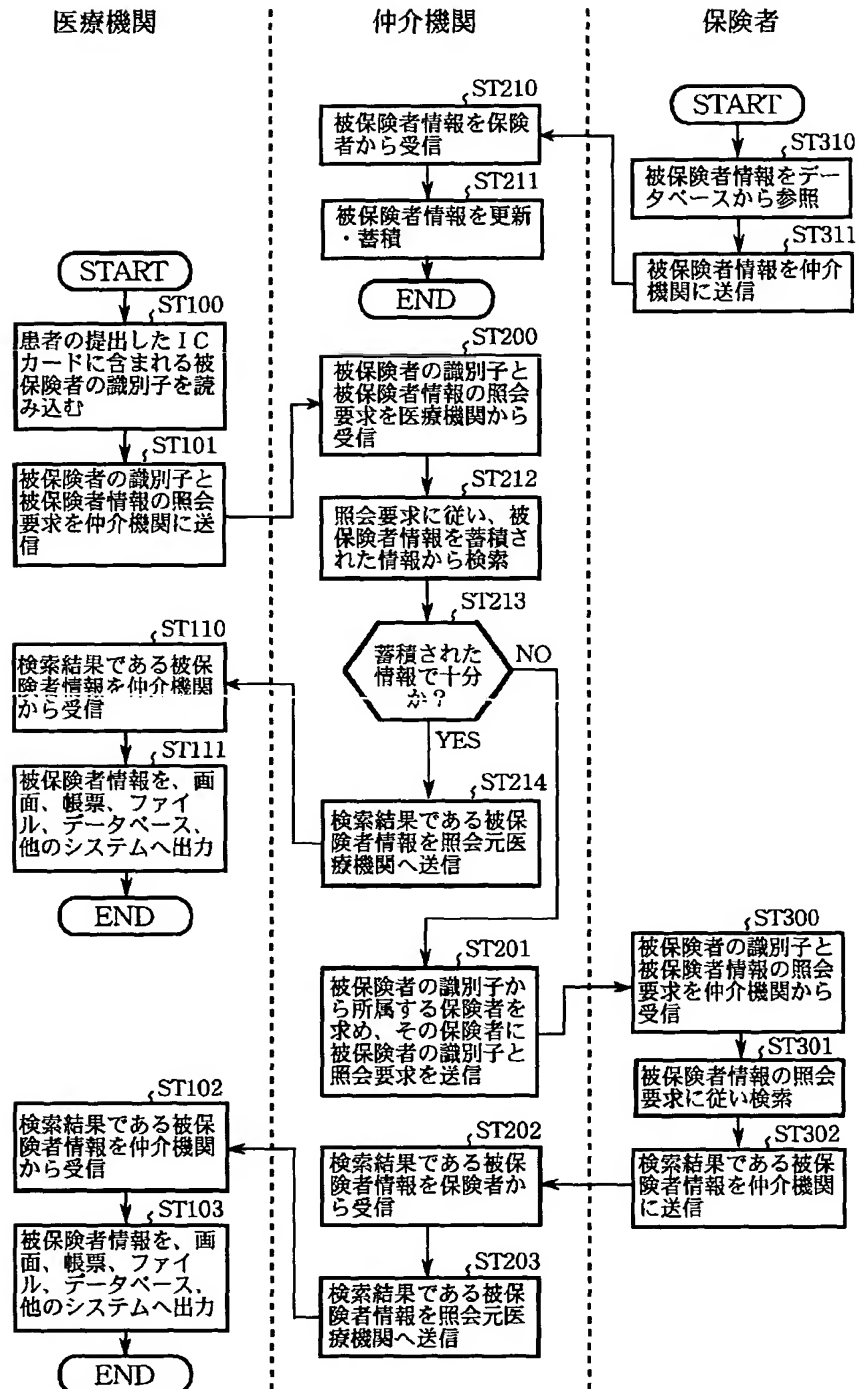
【図9】



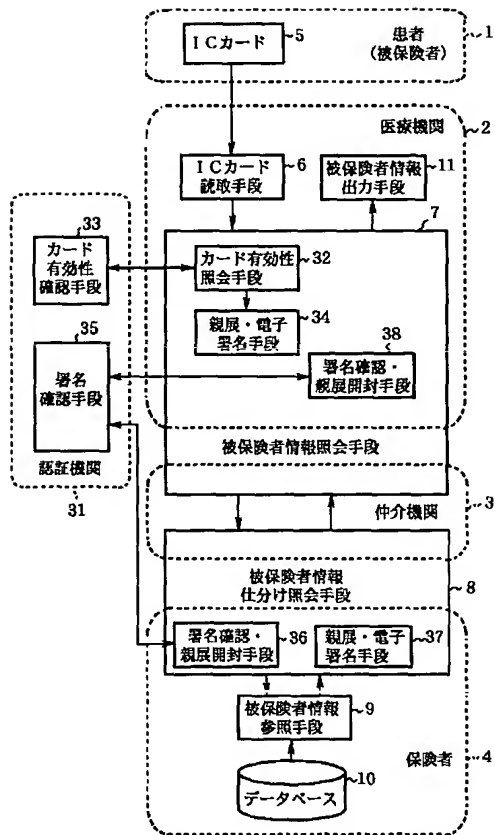
【図 2】



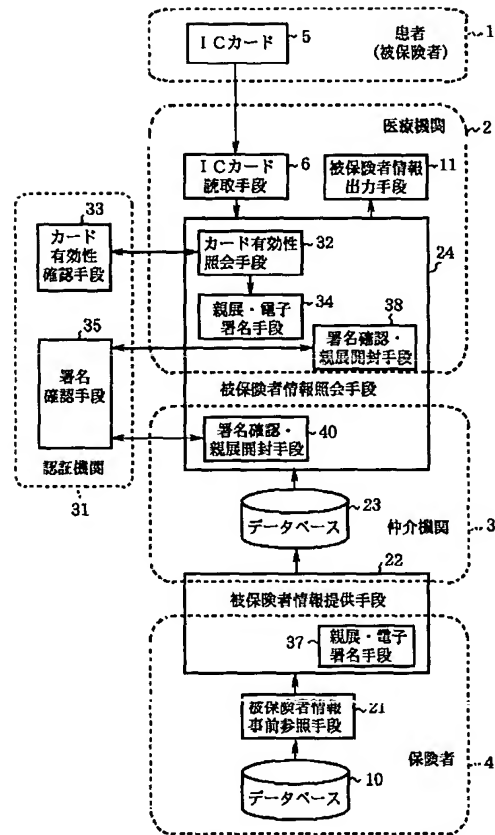
【図4】



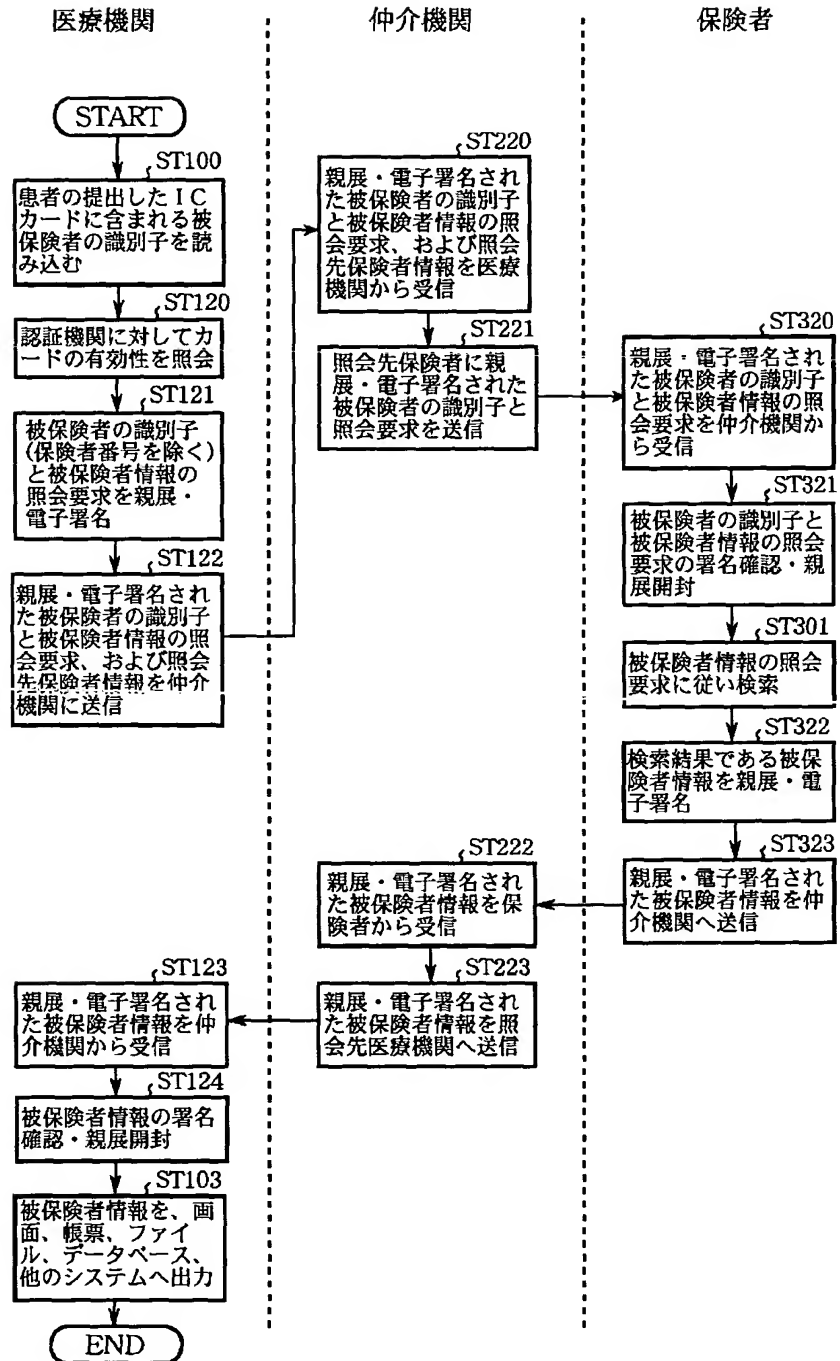
【図5】



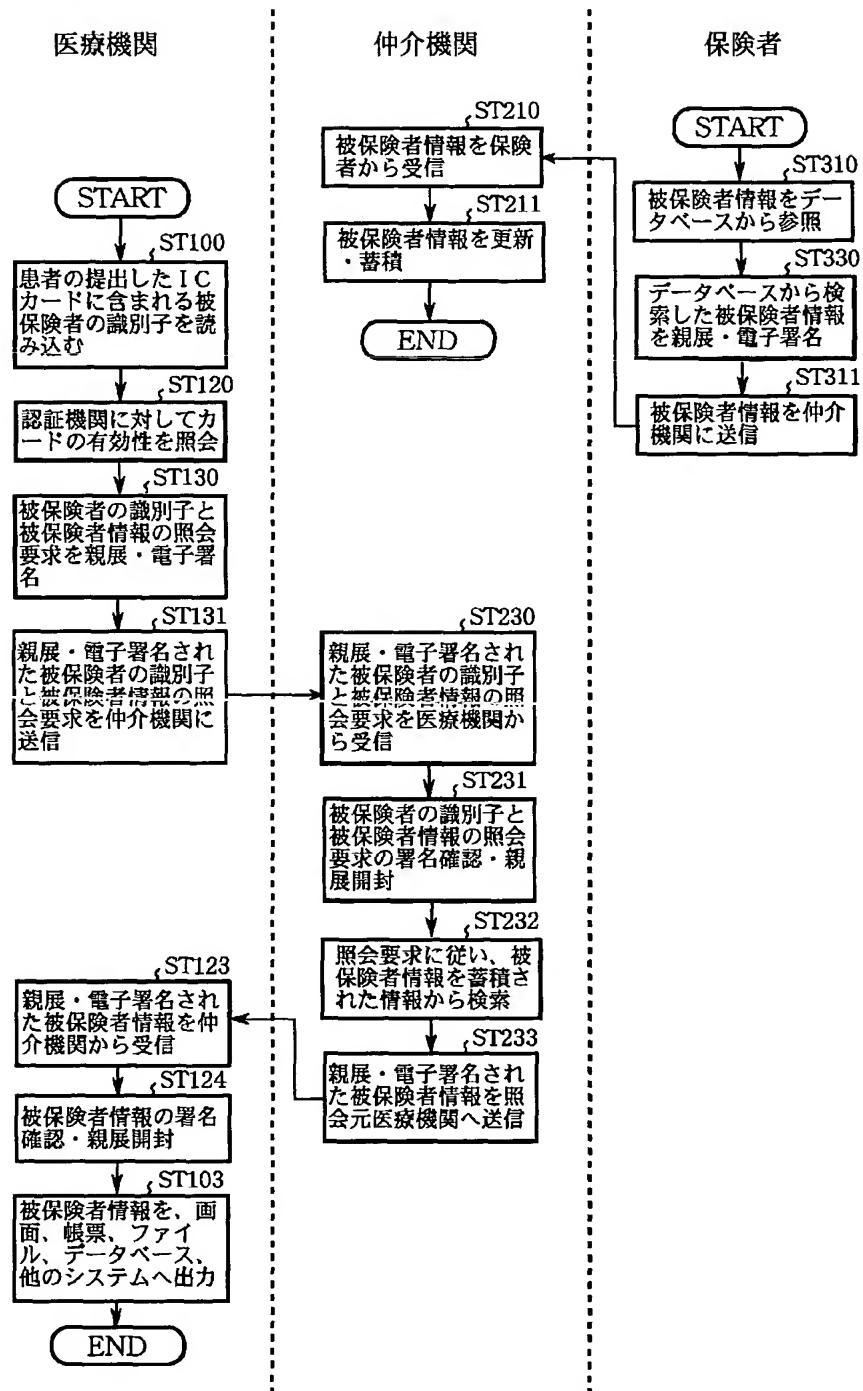
【図7】



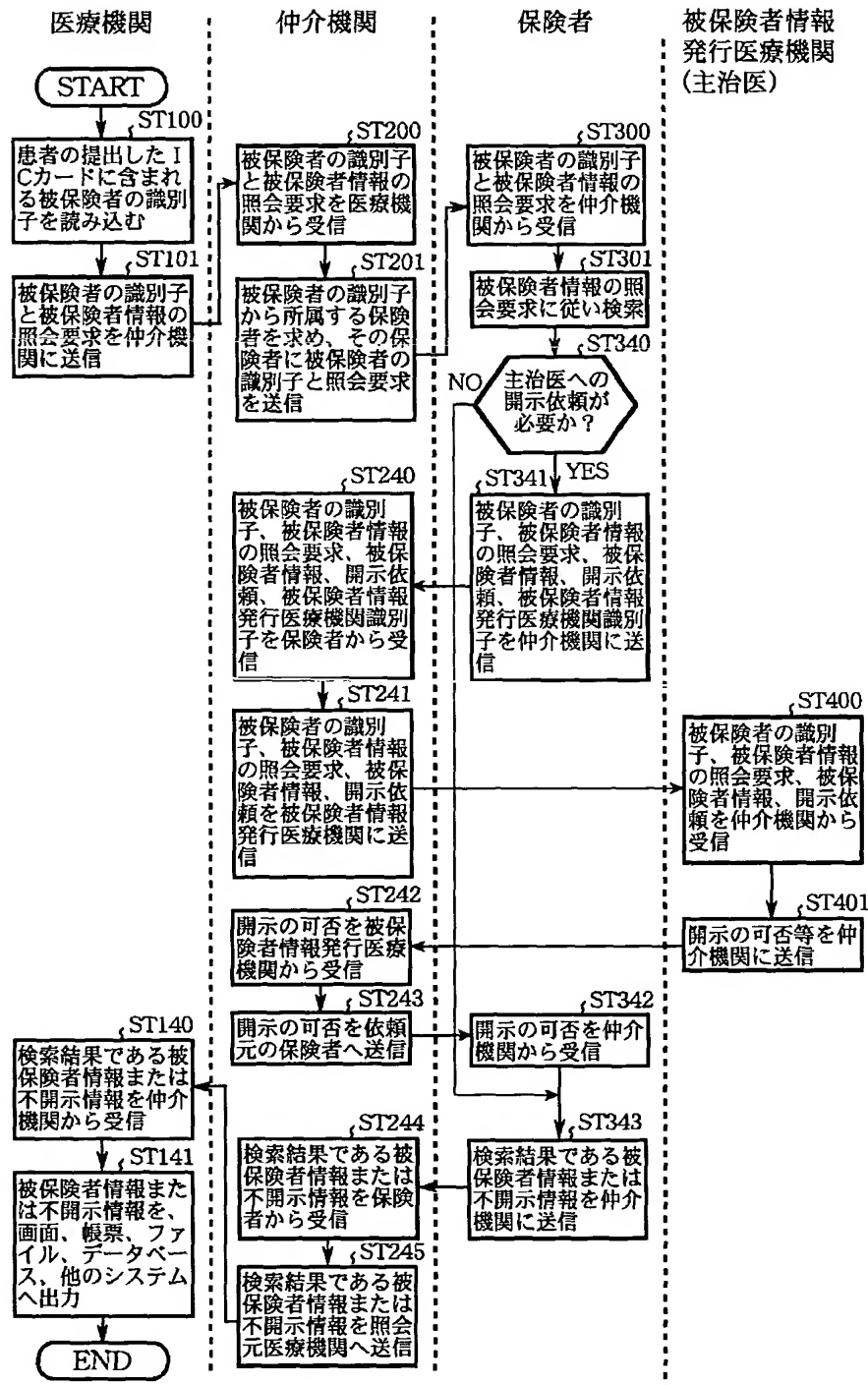
【図6】



【図8】



【図10】



【図11】

